

大腿頸部骨折人工骨頭置換術

ステップ名称	ステップ1		ステップ2	ステップ3		ステップ4	ステップ5	ステップ6	ステップ7	
	1日前		基準日		1日後	2日後～4日後	5日後～6日後	7日後～14日後	15日後～20日後	21日後
		術前	術中	術後						
到達目標	手術に対する心身の準備ができる		合併症なく退室できる		合併症なく経過する		劇痛コントロールができる	介助で車いすに移乗ができる	車いすでの生活が安全に送れる	
						脱臼予防肢位が保てる	劇痛がコントロールできる	脱臼予防肢位が保てる		回復期リハビリ病棟への転棟ができる
処置	弾性ストッキングのサイズを測ります リハビリテーション科の診察があります 14時ごろに澗腸をします	手術前に弾性ストッキングを着用します 手術室へはベッドで行きます	手術室で点滴やおしっこなどの管が入ります	酸素マスク、心電図モニターなどをつけます 呼吸が安定すれば酸素マスクをはずします 心電図モニターをつけます	心電図モニターをはずします 傷の消毒をします	傷の消毒をします 手術部位の管を抜きます	おしっこの管を抜きます 6日後に傷の消毒をします	8日後、13日後に傷の消毒をします 13日後に抜糸をします		急性期病棟から退院・転院または転棟します
検査			手術中にレントゲンを撮ります	血液検査があります	血液検査があります			7日後にレントゲンをとります		
体温・呼吸・循環	入院時に体温、脈拍などをはかります	手術室へ行く前に体温などをはかります		適宜体温、脈拍などをはかります	6時 10時 14時 19時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時 19時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時ごろに体温、脈拍などをはかります
入院時に身長、体重を測ります								7日後、14日後に血液検査があります		
注射			手術室で点滴があります	持続点滴中です 抗生薬の点滴を行いません	終了後点滴を抜きます 抗生薬の点滴を朝、夕行ないます	抗生薬の点滴を朝、夕行ないます				
投薬	持参薬があればお知らせください 抗血栓薬以外の内服薬は21時まで服用します	指示薬があれば午前6時に少量の水で指示薬を服用します			朝から鎮痛剤を6日間服用します	3日後から抗生薬を4日間服用します				
清潔・排泄	シャワー又は全身清拭、洗髪、手浴、足浴、爪切りをします 排便を確認します	手術開始30分前に排尿を済ませます			身体を拭きます 陰部を洗います	陰部を洗います	割創がフィルム剤になればシャワー浴ができます おしっこの管を抜いた後に自尿の確認をします	7日後、9日後、12日後にシャワー又は身体を拭きます		退院後、入浴できます
食事	夕食後から絶食です 24時から絶食絶飲です	絶飲絶食です		病室6時間後に指示で飲水ができます	朝から食事が始まります					退院後、制限はありません
活動・安静度	ベッド上で安静にします			ベッド上で安静にします (外転位保持) 外転枕を使用します	ベッドアップ90度まで可能です	手術部位の管が抜ければ、車いすで移動ができます		術後14日以降ご自身で体位交換が可能になります		退院後、脱臼肢位をとらないよう動作に注意します
教育・指導・説明・リハビリ	主治医から手術について説明があります		家族の方は手術待合室でお待ちください	家族の方に手術結果について説明があります		理学療法士・作業療法士から脱臼肢位について説明があります				
	薬剤師から薬について説明があります			脱臼肢位の説明をします		薬剤師から薬について説明があります		12日後に理学療法士・作業療法士からリハビリ計画書について説明があります		
	看護師から手術について説明があります			外転枕使用による看護師介助の体位交換について説明があります						
	術後の脱臼予防について説明があります									
	特別な栄養管理の必要性(有)									
書類	入院診療計画書を渡します 手術同意書 麻酔同意書 輸血同意書を看護師詰所に提出してください									
手術										

※A4サイズに簡略化しております。
※入院する曜日によって日数は23日～25日と異なります。